2026 年 4 月 23 日作成（第 2.0 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学保健科学部作業療法学科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

２０２５年　3月

福島県立医科大学医学部保健科学部作業療法学科　藤田貴昭

■ 研究課題名

回復期リハビリテーション病棟入院患者におけるナースコールの使用可否の予測因子を検討する後方視的コホート研究

■ 研究期間

２０２５年3月　～　２０２９年3月

■ 研究の目的・意義

臨床現場で認知機能が低下しナースコールが上手く使用できない場合、患者さんの安全を確保するためセンサーマットを使用したり体幹ベルトなどの抑制帯を使用したりすることがあります。このような対応は患者さんの状態が落ち着き次第、可及的速やかに取り払われるべきですが、医療スタッフはその判断に迷うことも多いです。もしナースコールの使用可否や体幹ベルトなどの抑制帯を早期に外せる可能性のある患者さんを予測できれば、その患者さんの様子を日々丁寧に観察しながら患者さんの行動制限を解除する適切なタイミングを図ることが容易になります。しかし、現状ではそのような予測ツールの開発が十分に進んでいないため、医療スタッフの経験則に頼っているのが実情です。

本研究では回復期リハビリテーション病棟の入院患者さんにおいて、ナースコールを入院時に適切に使用できなかった方が退院までに使用できるか否かを予測する因子を明らかにすることを目的に研究を行います。また入院時に体幹ベルト等の抑制帯が使用された患者さんが退院までに解除されることを予測する因子を明らかにすること、およびナースコールの適切な使用の可否が転帰先（自宅退院等）を予測する因子になるかも検討します。

■ 研究対象となる方

2020 年 4 月から 2024 年 12 月の間に戸畑リハビリテーション病院回復期リハビリテーション病棟に入院した患者さんを対象とします。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から性別、生年月日、年齢、原疾患、既往歴、起算日（発症・受傷等）から入院までに期間、入院前の生活場所（自宅、施設)、要介護度、在院日数、転帰先、FIM 得点、重症度、医療・看護必要度（B 項目)、認知症の診断の有無、高次脳機能障害の有無、ナースコールの使用可否、身体的拘束・センサーマット使用の有無などの項目についてデータを収集し、統計学的分析を行います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

２０２５年5月１日

■ 研究組織

この研究は福島医大を中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者、および既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木弘行であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

【研究組織】

研究代表者　　福島県立医科大学保健科学部作業療法学科　准教授　藤田 貴昭

共同研究機関

研究責任者　　戸畑共立病院　リハビリテーション科　古海 賢人

既存試料・情報の提供のみを行う機関

戸畑リハビリテーション病院　リハビリテーション科　大坊 昌代

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

研究機関等の診療情報は氏名等の情報を削除し研究 ID を付与した状態で USB などの情報記録媒体を用いて研究事務局へ送られます。研究代表者はデータ解析のため共同研究機関に必要に応じて情報を共有します。なお、個人情報提供を行う際の当施設における管理者は、福島県立医科大学学長　鈴木弘行です。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

問い合わせ先

〒960-8516　福島県福島市栄町 10 番 6 号
公立大学法人福島県立医科大学保健科学部作業療法学科　担当：藤田貴昭
電話：024-581-5503
e-mail：t-fujita@fmu.ac.jp